



# 豊かなスポーツライフの拠点施設 総合体育館を建設します

市で初めてのPFI事業として新しく総合体育館を建設することが、12月に開かれた市議会で可決されました。平成17年春に運動公園陸上競技場の隣にオープンする予定です。このページでは総合体育館の概要を紹介します。

## 「する、みる、 ささえる」 スポーツを支援

総合体育館は単にスポーツをするための施設ではありません。スポーツ観戦や各種イベントへの参加、屋外広場での休憩など、市民のみなさんが体力や年齢、技術、興味などに応じてウエルネスライフを楽しめる施設です。また、スポーツを通じた交流の拠点となる市民クラブルームを設置し、「ささえるスポーツ」も支援します。

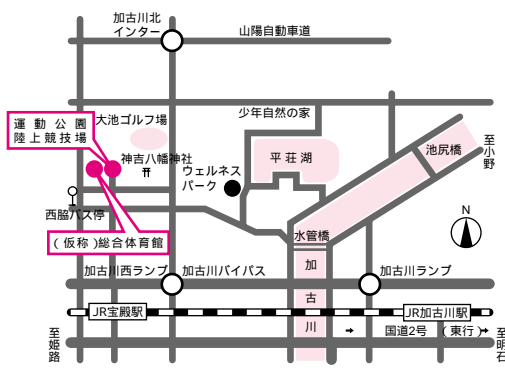
使いやすいように  
メインとサブの  
アリーナを設置

さまざまな用途に柔軟に対応できるように、館内を本格的なスポーツ空間であるメインアリーナと、コミュニティ空間として多目的に利用できるサブアリーナに分けています。バスケットボールやバレーボールなどの国際試合が開催できる本格的なコートがメインアリーナに三面、サブアリーナに一面設置できる広さです。

## 安心して快適に利用できる 設備が充実しています

館内はだれもが使いやすいユニバーサルデザインに配慮しています。エアコンも完備しますので、快適な環境でスポーツを楽しめます。また、小さい子どもがいる利用者も安心してスポーツができるように、サブアリーナにはガラス張りの幼児遊戯室を設置します。

その他の設備：観覧席(約二千三百席)、ランニングコース、トレーニング室、救護室、研修室、選手控室、温水シャワー室、ロッカールーム、喫茶、売店



## PFIでコストを 25%削減できました

この事業では、市で初めてPFI手法を導入しました。PFI (Private Finance Initiative) とは公共施設などの設計、建設、維持管理、運営などを民間の資金や経営能力、技術を活用して行う手法です。これらを一括発注することにより、質の高いサービスをより少ない財政支出で提供できます。

今回のケースでは、総合体育館の設計、建設に加えて、総合体育館と陸上競技場を二十年間運営、維持管理することなどを事業の対象としています。市はこれらの費用約八十八億六千万円を二十年間かけて平準化して支払います。これらを従来の市直営方式で行った場合、市の支出は二十年間で約百十八億円と試算されていましたので、約二十五%の経費を削減することができました。また、従来の市直営方式のように、建設や大規模修繕にかかる費用を一時的に集中して支出する必要がなくなりました。

総合体育館やPFIのくわしい内容は、市のホームページ(アドレスは表紙に掲載)でも公開しています。

【問合先】市教育委員会スポーツ振興室(☎079381)へ。